

在鸣门 第162期

こたつ / 烤火架

お天気が段々寒くなり、こたつを使う季節になりました。中国にも日本にもこたつがありますが、構造と用途は多少違います。

天气渐渐变冷，又到了用烤火架取暖的季节。中国和日本都有烤火架，但是结构和用途稍有不同。



中国のこたつはソファや椅子より高く、枠組みが木製やステンレス製、布団が床までか床よりやや上まで覆われます。

内部空間が結構大きいので、洋服を乾燥する機能も持っています。引き出し式乾燥枠付きのデザインまで出ています（右下図）。

熱源の電気ヒーターは単品で、別途購入が必要です。農村地区では、電気ヒーターの他に、



中国的烤火架高度高于沙发或椅子。内部架子一般为木制或不锈钢。外部烤火被下垂至地面或略高于地面。

由于内部空间较大，烤火架还具有烘烤衣物的功能。现在市面上还出现了携带抽屉式烤衣层的架子（右下图）。

供热用的电暖炉，需单独购买。在农村地区，除了电暖炉之外，在烤火架内放入火盆暖炉的家庭也很多（左下图）。





こちらは日本のこたつです。中国のものと違い、全体的に高さが低く、布団は広く床を覆われます。

日本では、室外から住宅に入る時、靴を脱ぐかスリッパを履く必要があります。和室の畳の場合（上図）、畳を傷つけないように、スリッパまで脱ぐ必要があります。こたつを使う時、床に座布団などを置いてから床に座り、脚をこたつの中に入れて体を温かめるのが普通です。座り方が違うため、日本のこたつは比較的低いです。

また、中国と違って、日本のこたつのヒーターは枠組の中に設置されており、電源を入れると使えるようになります。

今、日本でこたつを使う度、大学時代に寝室のベッドの上で勉強机に向いて勉強したことがいつも思い出されます。



左上图是日本的烤火架。它与中国烤火架最直观的差异就是整体高度较低，烤火被大面积覆盖地板。

在日本，从室外进入住房内时，都需要脱鞋，或换成室内拖鞋。而在进入日式榻榻米房间时（上图），为避免榻榻米受损，连室内拖鞋都需要脱下。在使用烤火架时，人们习惯在地板上放上一个坐垫，然后席地而坐，将双脚直接伸进烤火架内取暖。正因为这种不同于中国的就坐方式，所以日本的烤火架高度相对较低。

另外一个不同之处为：日本烤火架的电暖炉是直接安装在架子上方的，使用时插上电源即可（下图）。

现在，每当我在使用日本的烤火架时，就会想起大学时候坐在寝室的床上学习桌前复习功课的情景。



生活習慣の違いによって中国と日本のこたつも違いがありますが、こたつの中に入って、本を読んだり、パソコンを見たり、家族と歓談したりする時、得られる幸せは同じだと思います。皆さん、こたつがくれる温かさと幸せを楽しんで、寒い冬を温かく過ごしましょう。

因生活习惯差异，中国和日本的烤火架也稍有不同，但是当我们围坐在烤火架旁，或学习、或看电视、或与家人畅谈，此时我们获得的幸福感都是一样的。让我们在寒冷的季节，好好享受烤火架带给我们的温暖和幸福吧！

部门：鸣门市观光振兴课

地址：鳴門市撫養町南浜字東浜 170

(〒772-8501)

TEL：088-684-1746/FAX：088-684-1339

E-mail：kokusai@city.naruto.i-tokushima.jp

编辑：翟羽佳